

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年12月2日 文責:校長 森川 稔



2学期もあとわずか

暑さの厳しい中、つい先日2学期が始まったように思っていたのですが、気づけばもう12月です。朝、校門前で子どもたちを迎えますが、登校してくる子どもたちの元気な「おはようございます!」のあいさつとともに吐く息も白くなり、上着や手袋など短い秋を通り越して冬の装いになっています。



今月は、人権集会や市学力調査、持久走記録会(授業参観)、学級懇談会があります。子どもたちの人権意識や学力、体力向上を目指して取り組んで参ります。ただ冷え込みとともに体調を崩している子もいます。まとめのひと月を元気に過ごせるよう、お子さんの体調管理にご留意下さい。今月もどうぞよろしくお願ひします。

寒い冬を元気に過ごすために

防寒対策として、本校では感染症等予防の観点から、十分な換気をしながら市の基準に沿って暖房を入れます。登下校および校舎内外での持参、着用等については、中学校と連携を図りながら別途配付したプリントに明記しています。体調面や疾患など個に応じた配慮は行いますので、まずはしっかりと目を通していただき、趣旨をご理解の上ご協力いただきますようお願いいたします。



○? ×?

避難訓練(地震想定)を行いました

今年度2回目の避難訓練を行いました。今回は地震発生を想定した訓練です。当初は消防署の方より地震体験車を持ってきていただき、実際の揺れを体験させる予定でしたが、あいにくの天候のため、体験は実施できず校内での訓練となりました。

校内放送で緊急地震速報を流し、机等の下に身をかがめて、避難の際はランドセルや教科書など身近なもので頭を守りながら動きました。東海地方出身の職員は、個人用の防災ずきんを教室に常備しており、一般的に大地震の可能性が高いといわれている地域での防災への取組や防災意識についても説明してもらいました。

住んでいる地域にかかわらず、地震を含め災害はいつ起こるかわかりません。大切なことは、日頃から備えておくことと、万一災害が起こったときに落ち着いて行動すること、

学校においては、「しっかりと話を聞く」ことが大切です。避難訓練を通して、防災意識をさらに高めていきたいと思ひます。



消防署、市立図書館、そして芋掘り



2, 3年生は、校外学習で消防署や市立図書館に行きました。消防署では、はしご車やポンプ車、救急車などのイメージが強いのですが、「119番」の電話がどのように伝わって出動までに至るのか、消防署で働いている方々がどのような役割分担で仕事をされているのか、実際に見学を通して多くのことを教えていただきました。

市立図書館では、未来創造館も含めて普段見ることのできない公民館施設や図書館の書庫やバルコニーなどの施設を見学させていただきました。また、司書の方から図書館を使うときのきまりなどについての説明を受け、読み聞かせもしていただきました。最後は自分たちの興味のある本



を探し出して閲覧したり借りたりすることができました。

また、1学期から北松農高、JAのみなさんにご指導いただきながら育ててきたさつまいもの収穫を行いました。芋掘り作業では、北松農高の1年生の皆さん総出で協力していただき、小学生だけでは掘り出せないくらい大きなさつまいももあり、みんな大喜びでした。

いろいろな方や関係機関にご協力いただき、とても充実した学びの秋につながりました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



田平東小HPはこちらから→

